



新城門プロジェクト



新モンゴル

海城

本校は2015年10月に、ウランバートル市の新モンゴル小中高一貫学園と提携校となりました。同校は、東大、京大、東工大をはじめ、イェール、UCLA、MIT、モスクワ etc といった**世界の名門大学へ多くの留学生を送っています。**

とりわけ医学部志望の生徒は少なくなく、日本の大学の医学部を志望する生徒も少ないのですが、主に2次試験の数学のハードルの高さのため、これまでは自国のモンゴル国立大学医学部や諸外国の大学の医学部に進学してきました。

一方、モンゴル国初の大学病院が日本(JICA)の協力により2020年に完成する(現在、竣工中)こととなっており、**日モの医療協力が飛躍的に増大**することが予想されています。

そこで、今後足掛け**3年計画(2020年1月まで)**で、両校の医学部志望者が、合格に向けて切磋琢磨する場として、**国公立医学部数学講座を開設**します。

対象者は、現高1、中3とし、講座は全20回を予定(第1回は11月第2週)。

本校の講習をSkypeで配信(新モンゴルの生徒は日本語が堪能です。本校生徒はライブで受講)し、数学の授業後に、**両校の生徒間で数学のみならず、将来の医療人として種々のディスカッションを実施**します。

また、**添削の充実**を図り、両校生徒の答案の比較などを通して、**日モの教育の違い**なども垣間見たく思います。

26ヵ月で20回の講座で、**開講日は出来るだけ受講者と相談して決定**しますので、参加しやすいと思われます。

志を同じくする外国の生徒たちと定期的に学ぶ機会は大変に貴重なものであり、**ともすると無味乾燥になりがちな受験勉強のモチベーションをあげるために最適な講座**となることでしょう。

医療人として雄飛することを願う意欲的な君の参加を待っています。

募集人数は15人までとし、応募者多数の場合は然るべき形で選考(その方法は後日連絡)します。

担当者:平山裕之(教頭)、村山雅之、中村哲也、川崎真澄(いずれも数学科)